

一小的校内研修(後期指導主事訪問 授業研究会)

道徳科の学習

令和6年2月1日(木) 4年2組

<主題名> 見えないきまり【規則の尊重】

<資料名> 図書館で

<学習について>

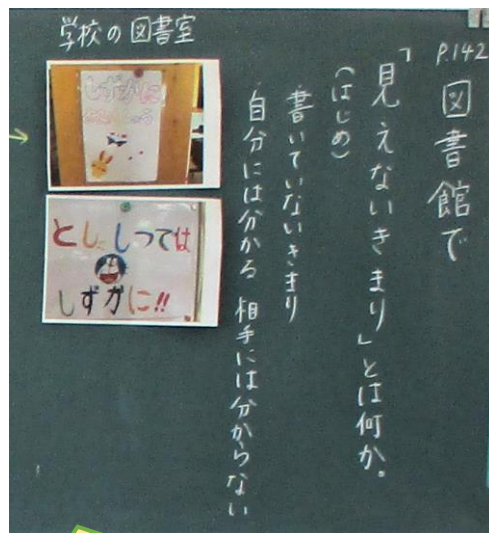
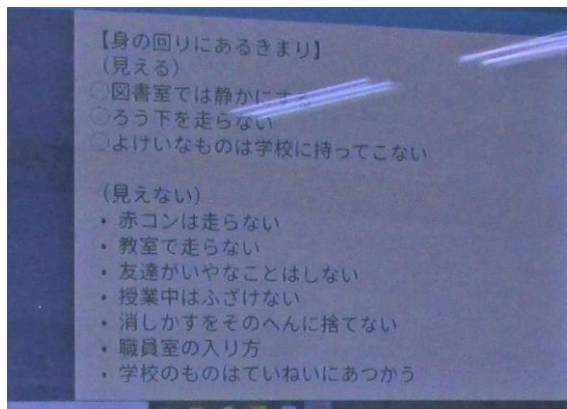
この学習で用いた資料は、次のような内容です。

主人公の由紀子は、ある日曜日に、父と共に中央図書館に行く。初めて中央図書館に行き、本の数や人の多さなど、学校の図書館との違いについて考える。中央図書館では、注意書きがなくてもきまりが守られていることに気付く。

本時のねらいは次の通りです。

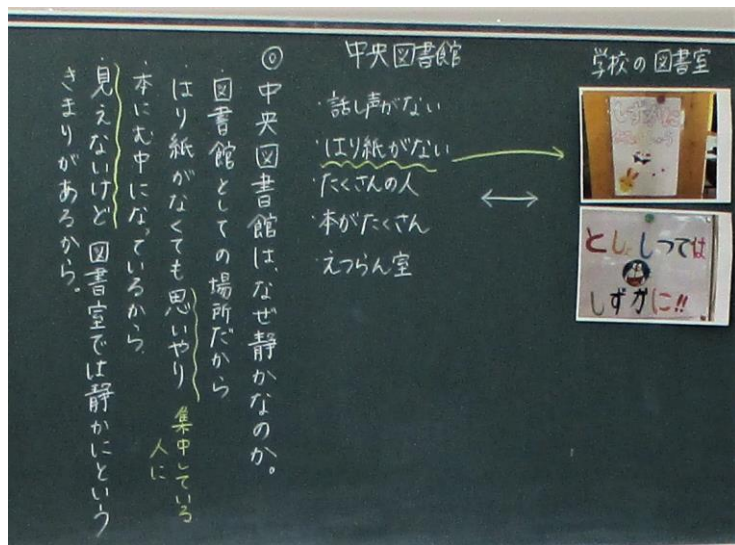
「見えないきまり」とはどのようなものなのか考えることを通して、社会には見えないきまりがあることとその意義を理解し、それらを守ろうとする実践意欲と態度を育てる。

活動1 「きまり」に関するアンケート結果から、本時のめあてをつかむ。



「きまりを守ることができているか」と問いかけ、「見えるきまり」と「見えないきまり」があることを確かめました。ここから「見えないきまりとは何か」を考えていきます。

活動2 資料を読んで、「見えないきまり」について話し合う。



資料を読んだ後、中央図書館と学校の図書館に違いがあることをとらえていきました。

そして、中央図書館が静かな理由を考えていきました。

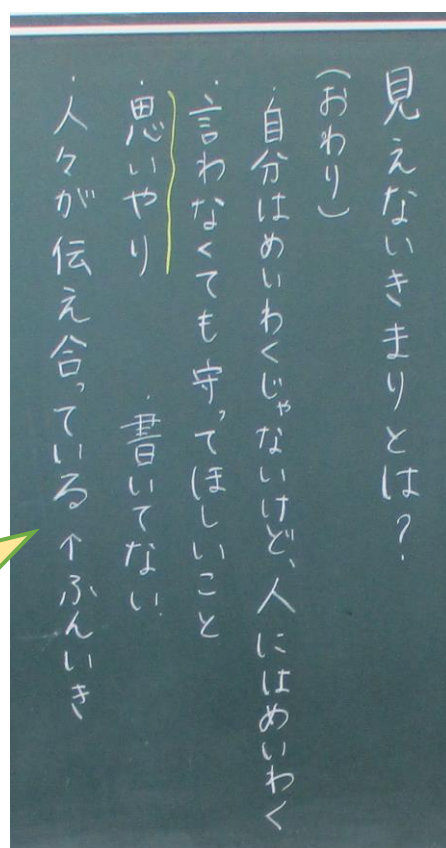
まず、自分の考えをワークシートに書き、次に、友だちと意見を交換しました。

自分の考えが広がり、納得していた様子の児童もいました。

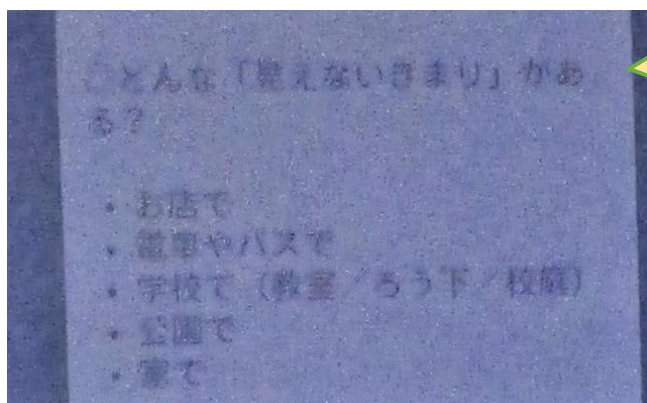


自分だけではなく、相手のことを考えていることや、その場所にふさわしい言動があることに気づいていました。

考えを深めていた児童が多かったようです。



3 身の回りにある「見えないきまり」について考える。



身近な場面（複数の人が集う場所）で、どのようなきまりがあるか考え、発表し合いました。

今日の学習について振り返った後、「見えないきまりを守るとどんなよさがあるのか」ワークシートに書きました。



「見えないきまり」があることを知り、その意義を理解して守ろうとすることについて、自分自身との関わりの中で考えている姿を見ることができました。